

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report 6

2012 No.693

## 3 はじめの言葉

### 4 急激な電子メディア化で進む

#### 情報表現の豊かさと危うさ

田原文夫

大本営発表は「ウソの代名詞」である。第二次世界大戦中に、どれだけ多くの大本営発表というウソの報道にマスコミ紙誌が加担し、結果として、どれだけ国民を騙してきたとか。主権在民の建て前にある現在の常識感覚からすると奇異な歴史の一頁に過ぎないかもしれないが、敗戦までの日本は主権在民ではなかった。だとしても、国民としての義務を従順に果たしてきていた国民をウソで固めて誘導してきた政府発表すなわち大本営発表の罪は重い。またそのウソを知りながらウソを垂れ流してきたマスコミの罪を問う声は強い。現代版大本営発表とも言える記者クラブ発表の垂れ流しも、今日のマスコミ報道疑念のタネになっている。その背景に、良いにつけ悪いにつけ情報に対する国民感覚が進歩しているという事情がある。国民全員が情報発信能力を持てるインターネット社会の形成がある。インターネットテクノロジーに象徴される情報ネットワーク社会にあって、従来我々の知識習得／交換の最大のツールであった書籍本環境も大きく変貌している。と同時に、思わぬ新たな動向も出てきた。紙から電子メディアへと情報媒体が換わることで情報表現の仕方が新しくて不慣れだという問題だけではない。読者に、情報内容はまったく同じであるからとして、電子化されるや原書の紙媒体の廃棄を安直に実行するビヘイビアが横行していることである。悪戯に何でも保有保管しておけというのではない。直接的な情報以外に、紙媒体の書籍が伝えてくれているものも読み取りたい。

### 1 1 情報社会を考える その 21

#### 情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

かつての「世界一の日本＝ジャパンアズ No1」は、世界に勇躍する日本企業を支える日本のコンピュータ産業によって支えられていた。企業の力は人材で決まる。企業が育てる人材力で決まる。企業が必要な人材は、企業の方針で決まる。人材のいないコンピュータ産業界の凋落を止めるのも人材である。

### 1 4 日本再生／世界競争力回復のカギ

#### 何故 M-B I M構築が必要か その 16

水田 浩

東京直撃型の大地震が発生する可能性があるとの専門家の指摘で、東京都は大騒ぎである。そこで、首都圏機能を失わないためのプロジェクトとしての BCP（事業継続計画）構

想が持ち出されている。そのキーテクノロジーとして何を採用するかで BCP 構想そのもののあり方が決まると言える。前号でも指摘した通り、東日本大震災の被災地では、道路や橋などの工事発注に必要な費用見積もり作業が滞っている。背景には、国や自治体で土木工事の専門家の技術系職員が減少、不足という事態がある。大津波の襲来で、不幸にして更地になったスペースへの工事であり、積算見積もりも、ある意味、し易い状況にあると思われる。しかし現実には掘削から仕上げまで細分化された費用を積み上げて計算する積算作業だけでも、一つの工事で半日がかりになっている。これが首都圏のように既存の建造物があることを前提とした BCP 構想では、難易度が違う。さらに何倍もの負荷を覚悟する必要がある。幸にして建設土木業界には、業界 EDI としての建設 CALS がある。この建設 CALS を抜本的に替える BIM をキーテクノロジーとして導入する良い機会でもある。

## 20 載 アーキテクチャ論 (14)

### 情報連携アーキテクチャ分析技法

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

以下では、アーキテクチャ記述についての標準 ISO/IEC/IEEE 42010 について説明する。アーキテクチャ記述標準 42010 では、システムのアーキテクチャ記述について、構成法と表現法を規定している。またアーキテクチャビューポイント、アーキテクチャフレームワークとアーキテクチャ記述言語、アーキテクチャ記述の使用法についても規定している。さらにアーキテクチャ記述に関連する基本的な用語と概念を提示している。

## 29 Facebook の本質と内在するリスク

### 急ぐべき SNS 活用ポリシー制定

aism

SNS を利用したネットコミュニティ作り検証の第三弾である。今回は事業展開の一環としての SNS 利用パターンを整理し、その考察を通じて、情報発信側および受信側のメリット/デメリットを確認してみた。またそこに存在(潜在)するリスクを想定してみた。特に Facebook の本質と基本テクノロジーの検証、それを活用するにあたっての心構えも合わせて検証してみた。その上で改めて企業における SNS 利用ガイドライン制定の必要性を確認し警告しておきたい。

## 33 ものの造れる日本再生に向けて 第二／第三の創業へ Dr.ベスト

### 第9回 第三の創業としてのリストラクチャリング(4)

1970 年代のオイルショック後、1980 年代は「激動の時代」と予測されたが、実は、「ジャパンアズ No1 = No1 としてのニッポン」という、今にして思えば黄金期だった。その黄金の夢が一気に醒めたのが、1991 年のバブル崩壊という悪夢からの出発だった。そしてそれは、さらに厳しい姿勢で日本全体の産業界のリストラクチャリングに挑戦する時代の幕開きだった。まさに温故知新である。新興国にはない一企業の枠を超えたリストラクチャリングの歴史をひもといてみよう。鉄鋼、造船、エンジニアリング、自動車、電気・電子業界の動向を追いながら、これからの日本再生に向けて踏み込んだ展望をしてみたい。

### 3 8 IT 新時代とパラダイム・シフト

#### 第 3 3 回 地域活性化とアニメの聖地巡礼(2)

根本 忠明

前回、アニメの聖地巡礼が地域の活性化につながっていることを紹介した。今回は、この続きである。聖地巡礼の前史ともいえるマンガアニメを利用した町おこしのいきさつ、アニメファンの間での聖地巡礼における IT 機器の利用による双方向のコミュニケーションについて、紹介することにしたい。

### 4 2 続インテリジェンスへのいざない 29

#### 主観と客観からの情報活用

今井 武

世界で一番安全な国だと言われたニッポンだったが、昨今の凶悪事件報道に接すると、これも遠い昔話、神話になってしまったような思いがする。逆に、殺人事件など凶悪犯罪は減っているという指摘もある。凶悪犯罪が減っていてレアケースになってきたからこそ、それらを取り上げる報道が目立つのだという意見である。しかし事実データは、どちらかひとつである。事実データの伝達にも伝達者の主観、客観性が大いに作用しているようである。

### 4 5 一味違うウェブ検索

#### 第二十三話 未来・現在・過去の話題を見つける ぐうのうえぶへい

これまでキーワード、さらには画像検索を利用したネタ探しを紹介してきた。これにさらに踏み込み、一味違うウェブ検索を進めるため、世間の話題を見つける方法について紹介しよう。世間に共通の話題を通じて、自分流のネタを探すことがポイントである。過去、現在から未来に通じるネタを探すことができる。

### 4 8 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまチヒロ

☆☆

#### WebCR 編集部からのお知らせ

本誌に連載／掲載されている記事に関するご質問、ご意見をお待ちしております。近い将来に予定されているプロジェクトに先立って不安や問題点の確認をなされたい方、現在進行中のシステムのプロジェクトマネジメントにおけるトラブル関連など、何でも結構ですので、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

☆☆

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

**CR選書**

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**実践データ・ウェアハウス OLAP**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEUCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの落とし穴**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体認証のための情報オーナーの課題
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛意識心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの対応策の卒業式	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の情報システム革新**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**『いざ！というときの得広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文も企業体質
■ ニュースリリースは東方向選定	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー—  
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たなチーム
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバリエーション
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安眠薬と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)